

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表: 2022年 2月 28日

事業所名 ウキウキさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		・勉強スペースと活動スペースを分けている。 ・可動性の高い遊具を使用しスペースの有効活用に努めています。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		・小さな段差にもスロープを設置するなどの対策を行っています。 ・施設の構造上、不完全な部分はクッション性の高い素材で保護するなどの対策を行っています。	・不完全な部分については適宜対策を講じてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			・設置一年目の事業所のため、今年度の評価公表が初回となります。ご意見を真摯に受け止め業務改善につなげてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			・ホームページに公開いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		・行政書士事務所によるコンサルティングを受け常に公正な業務に努めています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			・コロナ禍のため外部講師を招くことが難しい状況になっています。コロナが終息すれば機会を増やしていければ考えています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		・保護者の要望や日常の共有をすることでより多くの課題を見つけることに努めています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		・スタッフの立案に加え、子ども達の意見も積極的に取り入れながら行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		・外部から専門性の高い講師を招くなど質の高いプログラムの提供できる様工夫しています。 ・定期的に新しいプログラムが多岐的に行える物品の導入を積極的に行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		・子ども達の些細な変化を共有し活動に組み込んでいる。(子ども達に対する選択肢の提示)	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		・特にイベントが予定されている場合、事前に余裕を持って担当を決め、活動内容の共有と準備を行っています。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		・活動計画の結果欄に記載した上で情報の共有を行っています。		

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・記録の徹底を行った上で常に見直し検証を行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○			・定期的に行われるカンファレンスの時間を可能な限り拡充し内容の確認を深めたいを考えています。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・送迎時、保護者及び学校教諭等と積極的に情報共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・現在、該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・弊事業所は児童発達支援事業所も運営しており、スムーズに情報の共有が行われています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		・現在、該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		・専門医などから助言を頂けるネットワークを構築しているが、コロナ禍のため行いにくい状況が続いています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・コロナ禍のため行いにくい状況が続いています。状況が終息すれば機会を増やしていければと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や公式ラインを活用した上で送迎時に情報を共有しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・連絡帳や公式ラインを活用した上で送迎時に情報を共有しています。	
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に丁寧に説明いたしております。	・理解が難しい事柄が多いため、別途説明用資料の作成を検討してまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・連絡帳への記載に加えて、手紙や電話にて対応致しております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・コロナ禍のため行いにくい状況が続いています。コロナが終息すればニーズを検討の上、機会の検討を致します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・書面やグループライン等で情報共有の上、対応するよう心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・行事予定表の配布(書面)を行い、ホームページでは活動状況を極めて高い頻度で更新しています。	

等	35	個人情報に十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定められたルールに基づきファイリングし管理しています。 ・スタッフの雇用時及び退職時には個人情報の取り扱いについての契約書を締結しています。 	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードなどを用いて特性に応じて対応しています。 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため行いにくい状況が続いています。コロナが終息すればニーズを検討の上、機会の検討を致します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・法定に従い策定致しております。策定したマニュアルは各フロアに設置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・策定したマニュアルをホームページに公開するなど保護者に対する周知を徹底してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・法定に沿って定期的を実施しております。 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため行いにくい状況が続いています。コロナが終息すれば頻度を高め定期的な機会を設けてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに策定してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・情報を共有し対応しています。 	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、書類を作成し情報を共有し対応しています。 	